

市の財政状況・学校統合計画について問う



森 元 秀 一

うのは困難と思われ、期間延長せざるを得ない状況です。

森元 阿蘇西小学校が被災を受け、補正で5億6,000万円計上、合算で9億6,000万円組まれてますが、実質、市の負債はいくらかかるのか。

森元 地震で不安視されている市の財政（市債等）の状況について、実際のところどうなのか。

宮崎財政課長 今回の震災、通常時の阿蘇市予算の倍になつております。大半が地震災害の分ですが、起債額については、ほとんどが95%の交付税措置、残り5%を阿蘇市の自主財源で返済することとなります。皆様が不安視されております危機的であるとか、財政破綻を招く等の状況には陥つております。

森元 学校規模適正化計画を示されているが、今後、計画に変更等あるのか。

市原教育部長 残すところ阿蘇北中学校校区の統合になりますが、予算規模は30億円以上が見込まれます。事業費の3分の1程度、補助金が見込められるものの、残りが一般財源になるかと思われます。これまでの統合計画に照らし合わせましても、17億から18億円程度の基金積立が必要であると考えておりますの平成30年度までの計画完了とい



旧宮地小学校校舎

教育部長 総事業費9億6,127万7,000円。この財源は、災害復旧に伴う国庫補助金として6億8,041万6,000円。地方債、起債2億8,070万円。一般財源となる市の負担は16万1,000円を現在、予算計上させていただいております。

阿蘇山噴火 被災状況視察

平成29年2月8日（水）

市議会議員団で、阿蘇中岳火口噴火後の被災状況を視察しました。

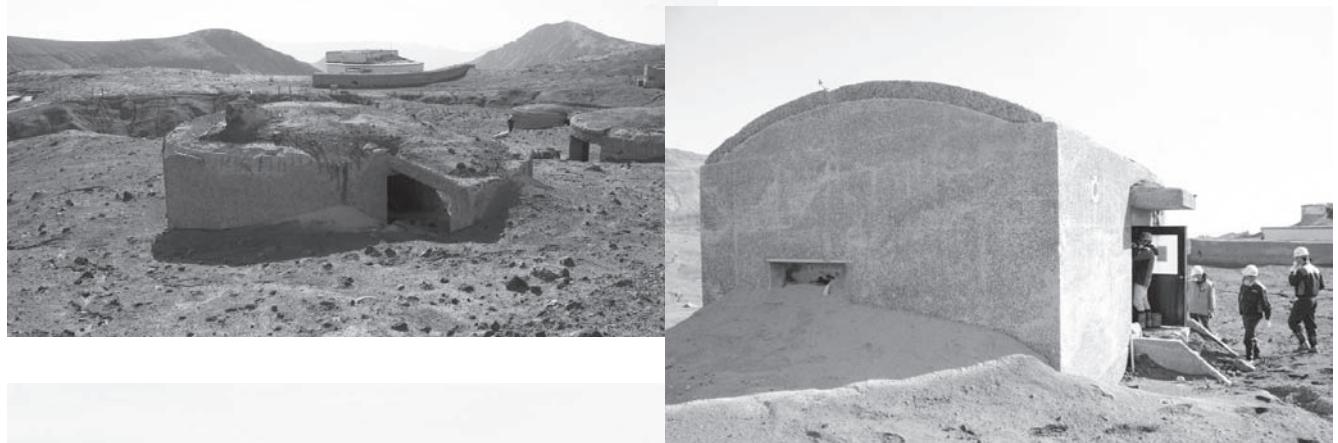
現地の火口周辺は、場所によつては80cm以上の火山灰が堆積し、また、多くの火山弾が散乱しているような状況で、爆発的噴火の凄まじさを目の当たりにしました。



ゲートからおよそ 1.5km の道路を塞いだ噴石、火口縁から手前 300m から徒歩で現地に向かいました。



退避壕は屋根部分まで埋没し、中にまで火山灰が及んでおり、人ひとり入れるような状態でないものもありました。



火口監視所に設置されているガス検知器は使用不能となっていた。



被災した火の国橋、
新規の架け替えが必要と思われる。

平成 29 年第 1 回阿蘇市議会定例会において、火山灰除去費用等に関する予算 3,200 万円を専決処分したものとして提出され、緊急的措置が必要であることを認め、全会一致で承認しました。